

日 時	令和7年12月18日（木） 13:55～15:25
学校名/機関名	栃木県総合教育センター
対 象	教職員95名
講 師	青木 圭太 氏（株式会社アオキシントック 代表取締役 CEO） 木村 大治 氏（株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー 航空宇宙技術開発部 工場技術企画課長） 轟 昂洋 氏（日豊工業株式会社 代表取締役社長）
内 容	<p>中堅教諭が民間企業におけるミドルリーダーの役割を知ること、教諭自身の視野を広げ、学校組織における自らの立場を再考することを目的とした研修の1コマとして、県内で活躍する若手リーダー3名がパネルディスカッションを行いました。</p> <p>パネラーは、ミドルリーダーが習慣化すべきは「信頼関係の構築」と「価値観の容認」であると伝えました。具体的には「約束を守る」「相手の正しさを理解する」「感謝で締める」という原則の徹底が、上下双方からの信頼に繋がると示しました。また、個々の考えを理解した上で情報を整理し、言語化して伝える重要性についても強調しました。</p> <p>若手からリーダーへの成長には「困難を一人で完結させる経験」が不可欠であるとした一方で、全てを抱え込まず「仕事を分解して周囲に任せる」ことがチームの生産性を高めると話しました。併せてAI等のデジタル技術の活用や、職務遂行の基盤となる「健康な心身」の自己管理についても、実体験に基づき助言を送りました。</p> <p>受動的な「作業」ではなく、自ら目標を見つけプロセスを改善する「仕事」へ昇華させることが働く喜びの原点であり、「先生自身がワクワクと働かなければ、魅力は伝わらない」という熱いメッセージを伝えました。受講者自らが、人生の主人公として情熱を持って教壇に立つことの大切さを再確認してほしいと締めくくりました。</p>

